

水稻用初・中期一発処理除草剤

新登場

カラット[®]

1キロ粒剤／フロアブル／ジャンボ[®]／400FG

水田の輝き
洗練された

雑草なき、



画像はイメージです

適用雑草



ノビエ



ホタルイ



オモダカ



イボクサ



ホソバヒメミソハギ



ドローン散布
(1キロ粒剤、フロアブル、400FG)



田植同時処理
(1キロ粒剤、フロアブル)



水口処理
(フロアブル)



NICHINO
日本農薬株式会社

®は登録商標

水稻用初・中期
一発処理除草剤

カラット[®]

1キロ粒剤／フロアブル
ジャンボ[®]／400FG

- ノビエをはじめSU抵抗性のオモダカやホタルイなど、難防除雑草に優れた効果を発揮します
- 各種雑草に長期の効果持続性を持ち、水稻への安全性も高く、田植当日の処理も可能です
- イボクサ、クサネム、ヒメミソハギなどの特殊雑草にも効果を有します

<2023年1月現在の登録内容>

■適用雑草および使用方法

●有効成分：イマゾスルフロン：0.90%、テフリルトリオン：2.0%、ピラクロニル：2.0% ●安全性：普通物 ●農林水産省登録：第24730号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	雑草名	散布適期	
1キロ粒剤	移植水稻	一年生雑草及び マツバヤ、ホタルイ、ヘラオモダカ、 ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、 セリ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg /10a	1回	田植同時散布機 で施用	2回以内	ノビエ	2.5葉期まで
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	テフリルトリオンを 含む農薬の総使用回数			ヘラオモダカ	2葉期まで		
	直播水稻	一年生雑草及び ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ	稻1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布	ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ ピラクロニルを 含む農薬の総使用回数	草丈15cmまで 発生期まで 再生期まで 発生前～発生始期まで 発生始期まで 発生始期まで	
フロアブル	移植水稻	一年生雑草及び マツバヤ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、 コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時			田植同時散布機 で施用	2回以内	オモダカ、クログワイ	2.5葉期まで
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機 による滴下			テフリルトリオンを 含む農薬の総使用回数	コウキヤガラ	2葉期まで	
ジャンボ	直播水稻	一年生雑草及び マツバヤ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ	稻1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで			ピラクロニルを 含む農薬の総使用回数	アオミドロ・藻類 による表層はく離	アオミドロ・藻類 による表層はく離	2葉期まで
						2回以内			

●有効成分：イマゾスルフロン：1.7%、テフリルトリオン：3.8%、ピラクロニル：3.8% ●安全性：普通物 ●農林水産省登録：第24731号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	雑草名	散布適期	
フロアブル	移植水稻	一年生雑草及び マツバヤ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、 コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500g /10a	1回	田植同時散布機 で施用	2回以内	ノビエ	2.5葉期まで
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	テフリルトリオンを 含む農薬の総使用回数			ホタルイ	2葉期まで		
	直播水稻	一年生雑草及び マツバヤ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ	稻1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで			原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機 による滴下	ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ ピラクロニルを 含む農薬の総使用回数	3葉期まで 草丈15cmまで 発生期まで 再生期まで 発生前～発生始期まで 発生始期まで	
ジャンボ	移植水稻	一年生雑草及び マツバヤ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、 コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで			ピラクロニルを 含む農薬の総使用回数	オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで	
		一年生雑草及び マツバヤ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ	稻1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで			2回以内	コウキヤガラ アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生始期まで 発生前	

●有効成分：イマゾスルフロン：2.25%、テフリルトリオン：5.0%、ピラクロニル：5.0% ●安全性：普通物 ●農林水産省登録：第24732号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	雑草名	散布適期	
ジャンボ	移植水稻	一年生雑草及び マツバヤ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、 コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	小包装 (パック) 10個 (400g) /10a	1回	水田に 小包装 (パック) のまま 投げ入れる	2回以内	ノビエ	2.5葉期まで
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	テフリルトリオンを 含む農薬の総使用回数			ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ ピラクロニルを 含む農薬の総使用回数	2葉期まで 3葉期まで 草丈15cmまで 発生期まで 再生期まで 発生前～発生始期まで		
	直播水稻	一年生雑草及び マツバヤ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ	稻1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで			ピラクロニルを 含む農薬の総使用回数	オモダカ、クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生始期まで 発生前	
400FG	移植水稻	一年生雑草及び マツバヤ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ、 ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、 クログワイ、コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで			2回以内	ノビエ	2.5葉期まで	
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	テフリルトリオンを 含む農薬の総使用回数			ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ ピラクロニルを 含む農薬の総使用回数	2葉期まで 3葉期まで 草丈15cmまで 発生期まで 再生期まで 発生前～発生始期まで		

●有効成分：イマゾスルフロン：2.25%、テフリルトリオン：5.0%、ピラクロニル：5.0% ●安全性：普通物 ●農林水産省登録：第24733号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	雑草名	散布適期	
400FG	移植水稻	一年生雑草及び マツバヤ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ、 ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、 クログワイ、コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	400g /10a	1回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機 による散布	2回以内	ノビエ	2.5葉期まで
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	テフリルトリオンを 含む農薬の総使用回数			ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ ピラクロニルを 含む農薬の総使用回数	2葉期まで 3葉期まで 草丈15cmまで 発生期まで 再生期まで 発生前～発生始期まで		
	直播水稻	一年生雑草及び マツバヤ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ	稻1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで			ピラクロニルを 含む農薬の総使用回数	オモダカ、クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前	
ジャンボ	移植水稻	一年生雑草及び マツバヤ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ、 ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、 クログワイ、コウキヤガラ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時			2回以内	ノビエ	2.5葉期まで	
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	テフリルトリオンを 含む農薬の総使用回数			ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ ピラクロニルを 含む農薬の総使用回数	2葉期まで 3葉期まで 草丈15cmまで 発生期まで 再生期まで 発生前～発生始期まで		

●有効成分：イマゾスルフロン：2.25%、テフリルトリオン：5.0%、ピラクロニル：5.0% ●安全性：普通物 ●農林水産省登録：第24733号

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレがるので、必ず適期に使用するように注意してください。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のものまで十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(3~5cm)で均一に散布してください。散布後、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。(1キロ粒剤)
- 原液湛水散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3~5cm)で本剤が水田全面にいきわたるように散布してください。散布後、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。(フロアブル)
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態に達したときに必ず水を止め、田面水があれ出れないよう注意してください。(フロアブル)
- 散布に当たっては、水の出入りを止め5~6cmの湛水状態で保ってください。散布後、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。(ジャンボ・400FG)
- 小包装(パック)のまま、10アール/当たり10個の割合で水田に投げ入れてください。(ジャンボ)
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破壊することがないようにしてください。(ジャンボ)
- 藻や浮き草が多く発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさせてください。(ジャンボ)
- 藻や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので、水の出入りを止め湛水状態(水深2cm/以上)で水田全面に散布してください。(400FG)
- 浅根え、浮き草が生じないように、代わりに均平作業及び植え付けはていねいに行ってください。未熟な機物を施した場合は、特にていねいに行ってください。
- 軟弱苗を移植した水田、極端な灌漑をした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きさ(水田・減水深2cm/以上)で、水害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 直接水栽培では、稻の根が露に出る条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 除草効果が低下するおそれがあるので、暑い降雨が予想される場合には使用を控えてください。
- 無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。(1キロ粒剤・400FG)
- ①散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - ②専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - ③事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
 - ④散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、場の端から5m以上離れた位置からほ場内に散布してください。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- 無人航空機で滴下する場合は次の注意を守ってください。(フロアブル)
- ①滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - ②滴下に当たっては散布装置のノズルを取り外してください。
 - ③作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他の他装置の十分な点検を行ってください。
 - ④隣接するは場に水稻以外の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の滴下は行わないでください。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- 薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タックの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稻以外の作物への薬液散布には使用しないでください。
- その殺草特性から、いぐら、れんこん、せり、くわいなどの生育が阻害されるおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田地で使用する場合は、十分注意してください。
- いぐら栽培予定期田では使用しないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。(1キロ粒剤・400FG)
- 散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 空袋・空容器等はほ場などに放置せず、適切に処理してください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。(1キロ粒剤・400FG・ジャンボの水溶性フィルムが破壊した場合)
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落してください。(1キロ粒剤)
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。(フロアブル)
- 作業時に着用している衣服等は他のものと分け洗濯してください。(フロアブル)
- かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意してください。(フロアブル)
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 無人航空機による散布または滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。(1キロ粒剤・フロアブル・400FG)
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋・空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

NICHINO 東京都中央区京橋1丁目19番8号
日本農薬株式会社 TEL:0570-09-1177 URL:<https://www.nichino.co.jp/>
レイミーの農薬チャットルーム ホームページに遊びにきてね！

2023年6月作成版(SK)IL12306S